

Is the HAS-BLED score useful in predicting post-extraction bleeding in patients taking warfarin? A retrospective cohort study

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2016-11-25 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 片岡, 利之 メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.20780/00023896

様式 (6)

学 位 審 査

学 位 番 号	乙 第 2911 号	氏 名	片岡 利之
審 査 委 員 会	主 査 教 授	萩原 誠久	
<p>論文審査の要旨 (400 字以内)</p> <p>抗凝固療法患者の抜歯は、原則的に抗凝固薬を維持量で行うことが推奨されている。本研究は、抗凝固療法患者の抜歯後出血の予測に、出血のリスク層別化に用いられる HAS-BLED score が有用であるか否かを検討した論文である。対象は入院下に抗凝固療法および抗血小板薬を維持量で抜歯した 258 例である。抜歯後出血の有無を調査し、HAS-BLED score、抗血小板薬の併用の有無などが抜歯後出血に及ぼす影響について統計学的に解析した。抜歯後出血は 21 例(8.1%)に発生したが、抜歯後出血は全例局所処置で止血可能であり、全身的止血処置が必要な症例はなかった。HAS-BLED score 単独では、ROC 曲線の AUC が 0.548, (p=0.867)であり、抜歯後出血を予測するには十分ではなかった。一方、抗血小板薬を併用している症例では約 3 倍、抜歯後出血のリスクが高かった。したがって、HAS-BLED score 単独では、抜歯後出血の予測は困難であった。しかし、本研究は単施設の後ろ向き研究であり、今後は外来患者の抜歯症例を含む大規模な前向きコホート研究が必要と考えられた。</p> <p>本要旨は当該論文が第二次審査に合格した後の 1 週間以内に学務部医学部大学院課へご提出下さい。(本学学会雑誌に公表) [学校教育法学位規則第 8 条]</p>			